

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
カウンセリング概論 Introduction to Counseling		2年	前期	金曜日 3時限
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義		選択 (教職課程必修科目である)	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
教職科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
心理学系科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
小竹仁美	講義棟3階	水・木・金 (授業と学生相談の時間を除く)	授業中に指示します	
授業の概要				
カウンセリングは、クライアントが自分一人では解決できないと感じている問題について、信頼できる人間関係(ラポール)を築き、クライアント自身がそれを解決できるように援助する過程であるといえる。カウンセリングの基本的な知識を学び、技法の練習を繰り返し、教師として児童や生徒またその保護者の相談援助にあたるための資源としてほしい。				
授業の到達目標				
この科目では、 ①信頼関係(ラポール)の形成の仕方を身につけることができるようにする。 ②自分の特徴や他者の特徴を知る方法を体験できるようにする。 ③カウンセリングのスキルを練習して身につけることができるようにする。				
授業の方法				
講義と演習。				
学習の成果				
この授業に参加すると、 ①ラポールを形成する方法を体験を通して身につけることができる。 ②自分の特徴をこれまでよりも深く知ることができ、また、他者の特徴を知る方法を体験を通して身につけることができる。 ③基礎的なカウンセリングスキルを身につけることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス： 授業概要や目標、成績評価と受講上のルールを説明する。受講生の自己紹介文作成と発表。			
第2回目	自他を知る、カウンセリングとは何か			
第3回目	自己紹介と他者紹介、ラポール形成について			
第4回目	言語的コミュニケーション			
第5回目	非言語によるコミュニケーション			
第6回目	ロールプレイ① 役割交換			

第7回目	ロールプレイ② 二重自我	
第8回目	面接の進め方	
第9回目	効果的な質問の仕方、沈黙への対応	
第10回目	繰り返しと明確化	
第11回目	対決と直面、支持	
第12回目	カウンセリングの事例を考える	
第13回目	12回目の考えた事例について物語を作る	
第14回目	物語の登場人物になりきって演じる	
第15回目	振り返り	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
		評価の基準
授業参加態度	60%	ロールプレイや話し合いに真剣な態度で臨んでいるかを見て評価する。S評価の基準は、活発に意見を発表できるとともに、他の参加者から意見を引き出ししたり、聴いたりできるかどうかとする。
レポート	40%	毎回の授業の最後に課す小レポートの内容等について評価する。
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験		
発表内容(態度含む)		
その他		
教科書と参考図書		
教科書は使用しない・適宜、資料を配布する。		
履修上の心得・ルール		
積極的な参加を期待する。		